

「未来への手紙」について

「未来への手紙」の募集概要

目的

東日本大震災・原発事故を知らない世代へ記憶や教訓を伝承すること

募集内容

震災学習等、震災を学んだことで感じた以下のテーマについて、200字～300字程度で募集。

- ① 将来へ伝えたい教訓（震災を学んで初めて気付いたこと、防災に関する知識等）
- ② 将来の自分へのメッセージ（震災を学んで自分が挑戦したいこと、自分への誓い・願い等）
- ③ 将来の福島県への願い（震災を学んで福島がどうなっ
て欲しいか等）

対象（震災学習の成果と継承の視点）

県内の中学生（県内の中学校に在学中の者）

募集期間

令和6年7月4日（木）から令和6年9月30日（金）

活用方法

- ① 祈念式における読み上げ（3作品程度）
- ② 3月11日に発出する知事メッセージの作成に活用
- ③ 県HP等での公表
- ④ 伝承館における掲示（3.11前後）、アーカイブ化
- ⑤ 県内中学校への共有を通じた震災教育への活用

「未来への手紙」の応募状況

応募総数 **1,238通**

<テーマ毎の応募数>

- | | |
|----------------|------|
| ① 将来へ伝えたい教訓 | 470通 |
| ② 将来の自分へのメッセージ | 380通 |
| ③ 将来の福島県への願い | 388通 |

「未来への手紙」選定会

選定メンバー

別紙のとおり

選定のフロー

- (1) 事前審査（11月に実施済）
選定メンバーをテーマ毎に3グループに分け、各自事前審査により候補作品を選定
- (2) 選定会（12月23日実施）@福島大学
 - ① **グループワーク**
作品のテーマ毎に3グループに分け、グループワークにより「祈念式における読み上げ作品」を選定。
 - ② **報告会（プレスオープン）**
グループワークにより選定した作品をグループ毎に知事に報告等。